

平成19年度

3学年 音楽科 授業計画

広島市立 石内小学校

教科の目標

表現及び鑑賞の活動を通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるとともに、音楽活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。

評価の観点

- ・進んで音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする。
- ・旋律に重点を置いた活動を通して、基礎的な表現の能力を伸ばし、音楽表現の楽しさを感じ取る。
- ・音楽の美しさを感じ取って聴き、様々な音楽に親しむ。

評価の方法

テスト、実技、ノート(プリント)、授業態度(発表など)

学期ごとの学習内容と学習のポイント

	学習すること	学習のポイント
前期	階名になれよう ・春の小川 海風きって ・茶つみ ほか リコーダーに親しもう ・笛星人(以降 通年) ・小鳥のために ・小さな花 ・さよなら ほか いろいろな音のちがいをかんじとろう ・おかしのすきなまほう使い ・金管楽器の音楽 うさぎ ほか	・旋律を階名で模唱したり視唱したりして、楽譜を見て歌うことに慣れる。 ・リコーダーの音に気を付けて聴いたり、基本的な奏法を身に付けたりする。 ・音の特徴や音色の違いを感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりする。 ・イメージに合った音を探して、表現の仕方を工夫する。
後期	ふしのとくちょうをかんじとろう ・バードウォッチング ・ふじ山 ・馬にのって ・エーデルワイス 曲の気分をかんじとろう ・ちびっこカウボーイ ・ハックルベリーフィン ・ゆかいな木きん ほか 音をきき合って合わせよう ・あの雲のように ・二人でおどりましょう ・パフ 生き生きと歌おう ・きょうりゅうとチャチャチャ ・あの青い空のように ほか	・旋律の特徴を感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりする。 ・旋律の特徴を生かして、歌い方や楽器の演奏の仕方を工夫する。 ・曲想を感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりする。 ・歌詞の表す様子を思い浮かべて、歌い方や楽器の演奏の仕方を工夫する。 ・声や音が重なり合う響きを感じ取って聴いたり演奏したりする。 ・互いの声や音を聴きながら、拍の流れに乗って演奏の仕方を工夫する。 ・発声や呼吸の仕方に関心をもって歌い方を工夫したり、声を揃えて歌う喜びを味わったりする。